



2024年7月11日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 川 篤 典
(東証スタンダード・コード 2769)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 佐 々 木 敏 夫
電 話 0 5 2 - 7 6 9 - 1 1 5 0

(訂正・数値データ訂正)「2024年5月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」
の一部訂正について

当社は、2024年1月12日に開示いたしました「2024年5月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2024年7月11日付)「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の内容

訂正箇所には____を表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 山崎 裕康 TEL 052-769-1150
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	11,073	△5.3	△741	—	△762	—	△823	—
2023年5月期第2四半期	11,694	△2.7	△168	—	△172	—	△212	—

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 △827百万円 (—%) 2023年5月期第2四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	△112.60	—
2023年5月期第2四半期	△34.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	24,467	6,549	26.7
2023年5月期	23,514	7,496	31.8

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 6,533百万円 2023年5月期 7,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 現時点において2024年5月期の配当金は未定であります。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	27,991	10.7	368	151.7	298	97.4	126	428.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	7,861,700株	2023年5月期	7,861,700株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	18,001株	2023年5月期	16,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	7,844,771株	2023年5月期2Q	7,847,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	80,000.00	80,000.00
2024年5月期	—	0.00			
2024年5月期（予想）			—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的になり、社会経済活動は正常化に向かい個人消費は緩やかな回復基調となりました。しかしながら世界的なエネルギー価格の高騰や、日米金利差拡大を背景とした歴史的な円安による物価上昇、人手不足の深刻化等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、急激な円安の進行、原油高騰、原材料価格の高騰による度重なる値上げ等により、消費者の節約志向、低価格志向が一層高まったことで、業種業態を超えた販売競争がさらに激化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、いままで世の中になかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けるという理念のもと、店舗事業・POPUP事業・オンライン事業の3つの事業を柱とし、ヴィレッジヴァンガードでしか表現することのできない、お客様に新しい発見や驚き、楽しさを体感していただくべく、新たな事業価値の創出・向上に取り組んでまいりました。

このような事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,073百万円と前年同四半期と比べ621百万円の減収(5.3%減)となりました。売上総利益は、売上高の減少が影響し4,399百万円と前年同四半期と比べ422百万円の減益(8.8%減)となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は741百万円(前年同四半期は168百万円の営業損失)、経常損失は762百万円(前年同四半期は172百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は823百万円(前年同四半期は212百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①ヴィレッジヴァンガード

ヴィレッジヴァンガードは、お客様にお買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」から「コト」も含め取扱分野を広げた「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等、オリジナル企画商品などのWeb販売「ヴィレッジヴァンカード オンラインストア」等を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、11,073百万円と前年同四半期と比べ621百万円の減収(5.3%減)となりました。売上総利益は、売上高の減少が影響し4,399百万円と前年同四半期と比べ422百万円の減益(8.8%減)となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は740百万円(前年同四半期は167百万円の営業損失)となりました。

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店4店を新規出店し、直営店3店を閉鎖したことにより、直営店302店、FC店4店の合計306店となりました。

②その他

当社グループには海外事業として海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商貿有限公司につきましては2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖しております。順次、会社清算へ向けた手続きを進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、21,605百万円となりました。これは、売掛金が396百万円減少したものの、現金及び預金が311百万円、商品が954百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、2,862百万円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が28百万円減少したものの、建物及び構築物(純額)が74百万円、差入保証金が8百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、24,467百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、8,275百万円となりました。これは、未払金が28百万円、未払費用54百万円、未払消費税等が45百万円減少したものの、買掛金が554百万円、1年内返済予定の長期借入金が120百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.3%増加し、9,642百万円となりました。これは、長期借入金が1,261百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、17,918百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて947百万円減少し、6,549百万円となりました。これは、利益剰余金が943百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて311百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4,302百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は676百万円(前年同四半期は211百万円の支出)となりました。これは、主に売上債権の減少391百万円、仕入債務の増加554百万円、減価償却費139百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失794百万円、棚卸資産の増加954百万円、未払消費税等の減少54百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は274百万円(前年同四半期は32百万円の支出)となりました。これは、主に差入保証金の回収による収入が42百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出139百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円、差入保証金の差入による支出52百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,262百万円(前年同四半期は753百万円の収入)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出1,708百万円があったものの、長期借入れによる収入3,090百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日の「2023年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,991	4,302
売掛金	1,589	1,193
商品	14,675	15,629
その他	462	483
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	20,714	21,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,082	1,156
その他（純額）	81	76
有形固定資産合計	1,163	1,233
無形固定資産		
ソフトウェア	240	242
ソフトウェア仮勘定	47	18
その他	1	1
無形固定資産合計	289	262
投資その他の資産		
長期前払費用	43	54
差入保証金	1,302	1,310
その他	1	1
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,347	1,366
固定資産合計	2,800	2,862
資産合計	23,514	24,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,212	3,767
短期借入金	153	256
1年内償還予定の社債	57	42
1年内返済予定の長期借入金	3,053	3,173
未払金	363	334
未払法人税等	16	49
未払消費税等	45	—
契約負債	43	43
株主優待引当金	28	52
賞与引当金	50	44
資産除去債務	3	5
その他	557	505
流動負債合計	7,585	8,275
固定負債		
社債	318	297
長期借入金	6,313	7,575
長期末払金	31	13
役員退職慰労引当金	418	427
退職給付に係る負債	156	149
資産除去債務	1,140	1,133
その他	53	45
固定負債合計	8,432	9,642
負債合計	16,017	17,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,330	2,330
資本剰余金	3,807	3,807
利益剰余金	1,383	440
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,521	6,578
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△12	△6
為替換算調整勘定	△28	△37
その他の包括利益累計額合計	△40	△44
新株予約権	16	15
純資産合計	7,496	6,549
負債純資産合計	23,514	24,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	11,694	11,073
売上原価	6,871	6,673
売上総利益	4,822	4,399
販売費及び一般管理費	4,990	5,141
営業損失(△)	<u>△168</u>	<u>△741</u>
営業外収益		
仕入割引	12	11
業務受託料	48	51
協力金収入	0	—
その他	44	32
営業外収益合計	107	96
営業外費用		
支払利息	66	70
営業外支払手数料	36	38
その他	8	8
営業外費用合計	111	117
経常損失(△)	<u>△172</u>	<u>△762</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	2	11
減損損失	9	20
特別損失合計	11	32
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△183</u>	<u>△794</u>
法人税等	28	28
四半期純損失(△)	<u>△212</u>	<u>△823</u>
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>△212</u>	<u>△823</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	<u>△212</u>	<u>△823</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	△13	△9
その他の包括利益合計	<u>△13</u>	<u>△3</u>
四半期包括利益	<u>△226</u>	<u>△827</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△226</u>	<u>△827</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△183	△794
減価償却費	145	139
固定資産除却損	2	11
減損損失	9	20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	66	70
営業外支払手数料	36	38
売上債権の増減額(△は増加)	247	391
棚卸資産の増減額(△は増加)	△633	△954
仕入債務の増減額(△は減少)	566	554
未払消費税等の増減額(△は減少)	△261	△54
その他	△65	△31
小計	△68	△605
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△65	△73
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△77	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△211	△676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25	△139
無形固定資産の取得による支出	△15	△42
差入保証金の差入による支出	△5	△52
差入保証金の回収による収入	33	42
その他	△19	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	104	103
長期借入れによる収入	3,030	3,090
長期借入金の返済による支出	△2,170	△1,708
社債の償還による支出	△15	△36
営業外支払手数料の支出	△36	△38
割賦債務の返済による支出	△38	△28
配当金の支払額	△120	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	753	1,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	510	311
現金及び現金同等物の期首残高	5,066	3,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,576	4,302

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の重要な会計上の見積りに記載した、新型コロナウイルス感染症の影響については、5類感染症への移行に伴い、徐々に回復していくとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	11,694	—	11,694	—	11,694
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,694	—	11,694	—	11,694
セグメント損失 (△)	<u>△167</u>	△0	<u>△168</u>	—	<u>△168</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、比利緹卡(上海)商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に「ヴィレッジヴァンガード」セグメントにおいて、9百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	11,073	—	11,073	—	11,073
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,073	—	11,073	—	11,073
セグメント損失 (△)	<u>△740</u>	△0	<u>△741</u>	—	<u>△741</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、比利緹卡(上海)商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に「ヴィレッジヴァンガード」セグメントにおいて、20百万円の減損損失を計上しております。